

授業科目 スポーツ人類学

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	スポ
小田切 毅一		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GIO】 人類学（文化人類学）という視野からみた人間のスポーツの営みを、広く世界の文明化の過程を視野に入れつつ概説する。人類の普遍的な行動様式としてのスポーツと人間との、その不可避的で宿命的なかかわりについて理解を深める。					
【学習目標】 ・スポーツの概念を、競技スポーツだけにとらわれない、広がりの中で理解できる。 ・スポーツが、狩猟採集文化や遊牧文化、あるいは我が国のような農耕文化のありようを反映することなどを考える。 ・ナショナルな枠組みで展開した近代体育や近代スポーツの発展過程を理解し、国民性や民族性とスポーツの関係を考察できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	スポーツの概念史、未開社会におけるスポーツ、起源論、スポーツと儀礼など。				
2	祭典競技、古代ギリシャのオリンピック競技に至る歴史人類学				
3	中世の世界における遊びや身体活動				
4	世界の民族スポーツ：球技系スポーツや格闘技系スポーツの系譜を探る				
5	日本的な伝統的身体と動作：「なんば走り」の話題から				
6	近代体育そして近代スポーツと国民性：“It's not cricket”の話題から				
7	総括論議：オリンピズムの終焉をめぐる				
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		「身体の零度」	三浦雅士	講談社選書メチエ	1994・1,800円
その他の資料					
【評価方法】 出欠の実績＋レポート（小論文）			【履修上の留意点】 授業に先立ち、適宜文献や資料を指摘する		